



題字・天野貞祐

第 66号

平成18年5月10日発行

発行所 〒112-0014 東京都文京区関口3-8-1

TEL / FAX 03(3946)6352(直通)

獨協同窓会 発行責任者 宮田和夫

----- 主な内容 -----

情報化時代の同窓会のあり方にご意見を.....(1)
定期総会・懇親会のお知らせ.....(3)
平成17年度決算書.....(4)
平成18年度予算書(案).....(5)
同窓会活動にご協力を.....(6)
卒業十周年アンケート.....(9)
クラス会だより.....(11)
平成18年度大学別合格者数.....(14)
学園だより・消息.....(15)
返信はがき職業欄記入例.....(16)

情報化時代の同窓会のあり方にご意見を

情報社会にあって同窓会の運営についても、会員各位のご意見を伺うべき課題が出来ております。

昨年4月に施行された個人情報保護法に基づく個人情報の保護を同窓会としてはどのように取り組むべきかという課題です。ご承知のように同窓会では会員の名簿を5年毎に発行してまいりましたが、同窓会名簿が悪用され、会員からも多くのご意見などが寄せられております。同窓会名簿を利用して、商品や不動産の購入を勧誘するようなダイレクトメールや迷惑かつ不躰な電話が会員のお宅や勤務先に届いているかと思えます。また、会員の中には、そうした迷惑を避けたいということで、会員名簿への掲載を辞退される方も出てきております。どのような経緯で、同窓会名簿がそうした業者の手に渡るのか明らかではありません。同窓会では、会員相互の連絡やクラス会、学年会などを開催する際に、会員が利用できるようにと数年に一度の割合で同窓会名簿を発行してまいりました。昨年も「会員名簿 2005年

版」を発行したところです。会員名簿の発行に当たっては、毎回2000冊を印刷し、発行年の前年に会費を納入された会員を中心に配布しています。また、会員の求めに応じて販売もしております。しかし、配布された名簿が一冊でも名簿業者などの手に渡ると、そこから、会員の個人情報が漏れるようで、悪用される機会となっているようです。このような状況の中で、同窓会名簿をどのように取り扱うべきか同窓会としても議論を重ねる時期に来ているものと考えられます。

個人情報保護法によると、5000名以上の個人情報を管理する団体・組織は、個人情報保護法の適用を受けることとなっています。本学同窓会も当然会員数が5000名を超えていますのでこの法の適用を受けることとなります。すなわち、法に定めるところの個人情報取り扱い事業者と同窓会も該当するということです。そして、法の定める義務を同窓会も負うこととなります。詳細については個人情報保護法

に譲りますが、以下のような問い合わせに同窓会が回答することも難しくなるかと考えられます。何年かぶりに途絶えていたクラス会を開催しようと同窓会に当時のクラスのメンバーの住所や連絡先を問い合わせるような場合、同窓会としては回答できなくなるかもしれません。問い合わせしてきた方が本当に同窓会の会員であるかの確認は、電話や文書だけでは心もとないものとなります。このような場合の確認方法についても考え方を整理し、一定の制度的対応が求められるのではないかと考えます。

また、総会への参加の確認のために、今回のように会報を会員各位に送付し、総会への参加のご返事を頂くようになっていますが、これまでは、返信用葉書に個人情報や近況報告などを記載していただいていた。しかし、今回からは返信用葉書が他人の目に触れることを避ける目的で、総会への参加のご返事を封書でお願いすることとなりました。とりあえず、身近なところから個人情報の保護を同窓会としても進めていこうとしているところです。

会員の情報は会員相互にとっては貴重なものですが、第三者には不要な情報であるはずですので、会員の個人情報が適正に取り扱われるよう、同窓会としても、議論していくことを予定しています。なにとぞ多くの会員の方のご意見やお考えをお聞かせいただければと考えております。また、個人情報保護について専門的にかかわっておられる会員の方がおられれば、ぜひとも議論に参加していただきたいものです。

つぎに、同窓会とインターネットとの関わりについて考えてみたいと思います。世の中はインターネットなくしては成り立たない時代となってきました。必要な情報はインターネットを介して容易に入手できる時代となりました。会員の多くも日常的にインターネットを利用しておられることと考えます。また、大学などの同窓会ではホームページを持っているのは当たり前前の時代ともなっています。本同窓会においても一昨年から遅ればせながら同窓会のホームページを立ち上げたところです。ご覧頂けているでしょうか。URLは

http://www.dokkyo-mejiro.com/index_content.htmlです。機会があれば、是非ご覧下さい。獨協学園の歴史について貴重な写真などが掲載されており、興味深いページとなっております。もちろん同窓会報もこのサイトから読むことが出来るようになってい

ますし、同窓会宛へのメールのアドレスも掲載されていますので、会員各位の動静やご意見などを送っていただければ会報などに反映させていきたいと考えています。

同窓会のホームページが開設されたことで、同窓会報がインターネット上で読めるのであれば、同窓会報の配布は要らないのではないのかといった意見も当然出てくることと思います。確かに、会報の印刷、配布に当たっては多くの経費が掛かっているのも事実です。限られた予算内で会員へ会報を送付するには配布方法を郵便から宅配に代えるなど努力をしてみましたが、まだまだ、印刷物として会報を手にとりて読まれておられる会員も多く、この時期に配布方法を変更するのは時期尚早かと考えられます。とは申すものの、これからの時代の趨勢を考えると配布方法についても議論を進めていく必要があるのではないかと考えます。会員各位の忌憚のないご意見をお聞かせいただければ、今後の同窓会報の拡充にもつながるものと考えます。よろしくご協力のほどお願い申し上げます。

情報化時代の新しい環境を活用して、獨協同窓会の新しい活動を展開していければ、同窓会会員相互のより一層の交流も期待できると思われま。さまざまな場で活躍されている先輩や後輩との思わぬ出会い、我々同窓生の貴重な財産ともなると考えています。新しい情報環境の中で今まででは考えられなかったような交流が新たに開かれることを期待します。

総会・懇親会のご案内

平成18年度の総会・懇親会を3ページ上段のよう

役員改選候補者名

会 長	鈴 木 荘太郎(昭35卒)
副 会 長	森 上 克彦(昭47卒)
監 事	大 場 荘介(昭23卒)
”	合 田 憲(昭38卒)
幹 事 長	中 村 昭美(昭41卒)
副幹事長	谷 口 有三(昭53卒)
会 計	高 野 邦彦(昭40卒)
会報編集	竹 内 文生(昭46卒)

6月17日に平成18年度総会

平成18年度獨協同窓会総会・懇親会を下記のように開催いたします。

日時：平成18年6月17日(土)

場所：

総会会場：獨協中学・高校小講堂

開始時刻：午後5時

懇親会場：椿山荘 タワー4階
カトリア

受付開始：午後6時より

開会時刻：午後6時30分

総会付議事項日時：平成18年6月17日(土)

第1号議案 平成17年度事業報告及び
平成17年度収支決算報告の件

第2号議案 平成17年度収支差額金処分案
承認の件

第3号議案 平成18年度事業計画及び
平成18年度収支予算案承認の件

第4号議案 次期役員改選の件

懇親会費：(会場受付でお支払い)

昭和16年以前の卒業生……………無料

昭和17年～平成12年の卒業生…………… 5,000
円

昭和13年～平成17年の卒業生……………2,000
円

出欠のご返事は同封の返信用封筒で、6月10日必着でお願いします。欠席なさる方は付議事項をご検討の上、委任状に記名・押印してください。返信用の用紙には職業を記入する欄がありますが、最終ページをご覧の上番号でご記入ください。

今年度の総会では、例年の通り前年度の事業報告及び収支決算報告、収支差額金処分案の承認と今年度の事業計画及び収支予算案の審議があります。

また、今年度は、会長、副会長、監事の改選年度に当たっていることから、この件についてもご審議いただくこととなっています。

昨年度の事業報告では、会員名簿の作成及び発送について報告がありますが、毎年準備してきた名簿積立金を充当して行われ、他の事業については例年とほぼ同じ内容となっています。今年度の事業については平年の事業ということで、総会の開催及び年2回の会報発行が主で特別な事業計画はありません。

今年度の総会では、執行部より役員の改選について提案されますが、同窓会会則の第9条によりまずと会長、副会長、監事の任期は3年で、再任を妨げないこととなっております。現宮田和夫会長、合田憲副会長及び中島眞治両監事が2期6年務められたことで改選となります。執行部では、2ページ右下のように役員改選候補者を提案する予定であります。会長候補の鈴木荘太郎氏は、昭和35年卒で昨年度まで東邦大学医学部の教授をされておりました。また、職域の同窓会としての獨協ドクターズクラブの会長

もされています。副会長候補の森上克彦氏は2期目留任となります。また、監事候補者はこれまで副会長を務められていた合田憲氏です。

総会後は、例年通り椿山荘にて懇親会を計画しております。例年懇親会の参加者は多いものの総会への参加がはかばかしくありませんので、役員改選という重要な議事もございますので奮ってご参加くださるようお願い申し上げます。

巻頭にもありますように情報化社会のあるべき同窓会の姿についても会員各位のご意見を賜りたいと考えています。よろしくようお願い申し上げます。

現 役 員 氏 名

会 長：宮田 和夫(昭24卒)

副 会 長：合田 憲(昭38卒)

”：森上 克彦(昭47卒)

監 事：大場 荘介(昭23卒)

”：中嶋 眞治(昭25卒)

幹 事 長：中村 昭美(昭41卒)

副幹事長：谷口 有三(昭53卒)

会 計：高野 邦彦(昭40卒)

会報編集：竹内 文生(昭46卒)

獨協同窓会 平成17年度 収支決算書

平成17年4月1日から
平成18年3月31日まで

収入の部

(単位:千円)

科目	17年度決算額(A)	17年度予算額(B)	(A)-(B)	摘要
1 入会金	6,060	6,000	60	30,000円×202名
2 会費	6,720	7,000	280	5,000円×1,344件
3 寄付金	22	10	12	
4 事業収入	399	310	89	
総会会費	314	300	14	
名簿売上代	85	10	75	
5 資産運用収入	125	120	5	利息等
6 名簿積立金より繰入	5,000	5,000	0	
7 その他事業積立金より繰入	1,000	1,000	0	
8 雑収入	3	10	7	
合計	19,329	19,450	121	

支出の部

科目	17年度決算額(A)	17年度予算額(B)	(A)-(B)	摘要
1 事業費	12,984	14,800	1,816	
(1) 総会費	1,606	1,700	94	総会、懇親会費
(2) 会報費(獨協通信)	4,724	4,800	76	64頁号制作費
(3) 事業通信費	1,641	2,000	359	会報発送費等
(4) 慶弔費	109	200	91	
(5) 渉外費	23	100	77	諸会費等
(6) クラス会補助	200	300	100	
(7) 卒業生記念品費	402	500	98	
(8) 中高事業補助	200	200	0	
(9) 名簿作成、発送費	- - 4,079	5,000	921	
2 事務費	2,101	3,300	1,199	
(1) 事務運営費	613	900	287	事務通信費、振込手数料等
(2) 管理費	724	1,000	276	事務局費等
(3) 会議費	346	500	154	
(4) 旅費交通費	285	500	215	
(5) 名簿管理費	98	300	202	
(6) 雑費	35	100	65	
3 予備費	0	1,000	1,000	
小計	15,085	19,100	4,015	
4 収支差額金	4,245	350	3,895	
合計	19,329	19,450	121	

貸借対照表

平成18年3月31日現在
(単位:千円)

利付国債	15,000	(基本財産)	
政府保証債券	4,000	基本金	18,000
		(運用財産)	
		事業積立金	21,904
定期預金	22,000	(1) 名簿積立金	1,000
		(2) 一般事業積立金	20,904
現預金	3,149	収支差額金	4,245
	44,149		44,149

定期預金は4行に預託。

収支差額金処分案

次のとおり、全額積立金に繰入のこととしたい。
(単位:千円)

基本金	1,000
名簿積立金	1,000
一般事業積立金	2,245
計	4,245

同窓会活動にご協力を

同窓会では、同窓生の親睦、交流の場として毎年6月に総会・懇親会を開催し、5月と12月には同窓会報「獨協通信」を発行しています。また、クラス会などの同窓生が集まる会合には助成金を出し、同窓会の目的達成のために活動しております。

文末に掲載したように同窓会では「獨協同窓会会則」を定め、会の運営に当たっています。会則にもあるように、総会が最も重要な議決機関ですが、総会に準ずる議決機関として幹事会があります。幹事会は主として各卒業年次ごとに最低1名選出される幹事をもって構成されるもので、定員は120名となっています。しかし、幹事のなり手が少ないようで、年度幹事が選出されていない卒業年次も多いようです。総会での議論も大切ではありますが、実質的には幹事会が会の運営に大きく関わっており、会員の意見を反映する重要な機会となっています。是非とも各卒業年次毎に幹事の選出をお願いします。

巻頭にもありますように、多くの個人情報扱う同窓会としてはその取り扱いについても細心の注意が必要な時期となっておりますが、多くの会員各位のご意見を反映させていきたいと考えています。また、情報交換の場としてのホームページの活用なども重要な課題であり、同窓生の意見が反映される場として行きたいと考えています。

また、同窓会では今後の会の運営に当たり、講演会その他の活動も企画していく必要があるかと考えますが、様々な分野で御活躍中の同窓生の協力が是非とも必要かと考えます。

文末の同窓会会則をお読みいただき、会の運営に協力していただける方のご連絡をお待ちしています。とくに幹事の選出については同期の卒業生全員の承諾は求めませんので、同窓会の運営に関心のおありの方がいれば、自薦、他薦は問いませんので卒業年次の代表として活動してください。同期で複数の幹事を選出されてもかまいません。幹事の仕事は年2回開催される幹事会へ出席し、会の運営の審議に参加することです。幹事を勤めていただける方は、同窓会事務局まで、ご連絡ください。

獨協同窓会会則

第1章 総則

(名称、事務所)

第1条 本会は獨協同窓会という。

本会は、事務所を東京都文京区関口3丁目8番1号獨協中学・高等学校(以下母校という)内に置く。

(会員)

第2条 本会は、母校又はその前身である獨逸学協会中学校若しくは獨逸学協会学校中学に在学した者を会員とし、それらの現・旧教職員並びに関係者を特別会員とする。

(目的)

第3条 本会は、会員相互の親睦と向上を図り、併せて母校の発展に寄与することを目的とする。

第2章 事業

(事業)

第4条 本会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 会員相互の親睦と向上を図る会合等の開催
- (2) 母校の発展に寄与する事業の主催又は後援
- (3) 会報の発行
- (4) 会員名簿の発行
- (5) 会員並びに母校在校生に対する援助又は後援
- (6) 同期会並びに地域若しくは職域等を単位とした組織の育成と支援
- (7) 会員の慶弔に関わる事業
- (8) 本会又は社会的に功労のあった会員の顕彰
- (9) その他本会の目的を達成するために必要な事業

第3章 役員及び役員会

(役員)

第5条 本会に、次の役員を置く。

会長 1名 副会長 2名以内 幹事長 1名

常任幹事 30名以内

幹事 120名以内 監事 2名

必要により、副幹事長1名を置くことができる。

(顧問及び参与)

第6条 本会に、顧問及び参与を置くことができる。

顧問は、会長が幹事会の承認を得て委嘱する。

参与は、母校校長が指名する教職員とする。

顧問及び参与は、会長の諮問に応え、幹事会及び常任幹事会(以下役員会という)に出席して、意見を述べることができる。

(役員を選出)

第7条 会長及び監事は、会員中から総会で選出する。

副会長は、会長が会員中から指名し、総会の承認を得る。

幹事長は、会長が常任幹事中から指名し、総会の承認を得る。

副幹事長は、会長が常任幹事中から指名し、幹事会の承認を得る。

常任幹事は、会長が幹事中から指名し、幹事会の承認を得る。

幹事は、別に定める規定により、会員中から選出する。

(役員 の 職務)

第8条 会長は、会務を総理し、本会を代表する。

副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、その職務を代行する。

幹事長は、会長を補佐し、常任幹事会を総括し、会務を執行する。

副幹事長は、幹事長を補佐し、幹事長に事故あるときは、その職務を代行する。

常任幹事は、常任幹事会を構成し、会務を分担する。

幹事は、幹事会を構成し、会務を審議する。

監事は、本会の会計及び会務の執行を監査する。

(役員 の 任期 と 補充)

第9条 会長、副会長及び監事の任期は3年とし、再任を妨げない。但し、継続する場合には2期を限度とする。

幹事長、副幹事長、常任幹事及び幹事の任期は3年とし、再任を妨げない。

役員 の 任期 の 終了 後 次 期 役員 の 決定 まで の 期間 は、前任者 が その 任務 を 継続 し、且 可 及 的 速 や か に 次 期 役員 を 決定 する 措置 を と ら なければ ならない。

役員 に 欠 員 を 生 じ た と き は、第 7 条 の 規定 に 準 じ 補充 する。但、補充 役員 の 任期 は 前任 者 の 残 任 期間 と する。

(常任 幹 事 会)

第10条 常任幹事会は、会務の執行を担当する。

幹事長がこれを総括し、随時招集する。

会務を執行するために、必要に応じて各種の委員会組織を設けることができ、その組織には、幹事会の承認を得て、常任幹事以外の会員又は会員以外の要員の参加を得ることができる。

(幹 事 会)

第11条 幹事会は、会員の総意を代表して、総会

審議事項を含め、本会の運営全般について審議する。また、本会の運営に関して、幹事会の決議事項の執行を常任幹事会に求めることができる。

総会に次ぐ決議機関であり、適正な理由がある場合には、総会に代えることができる。

定例幹事会は年2回、臨時幹事会は会長若しくは常任幹事会が必要と認めたととき、又は幹事の1/3以上の請求があったとき、請求日から50日以内に、会長が招集する。

幹事会の議長は、幹事長がこれに当たる。

(議 決)

第12条 幹事会の議事は、出席者の過半数をもって決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

第4章 総会

(総会 の 開催)

第13条 総会は、定期総会及び臨時総会とし、会長が招集する。

定期総会は、毎年1回、事業年度終了後速やかに開催する。

臨時総会は、幹事会がその必要と認めたととき、又は幹事の1/3以上の請求があったとき、請求日から50日以内に、会長が招集する。

(総会 付 議 事 項)

第14条 総会は、次の各号に掲げる事項について審議し、議決する。

- (1) 会長及び監事の選出
- (2) 副会長及び幹事長の承認
- (3) 事業報告及び決算の承認
- (4) 事業計画及び決算の承認
- (5) 入会金及び会費の額と徴収方法の決定
- (6) 会則の変更
- (7) 本会の解散
- (8) 幹事会が総会の議に付する必要を認めた事項

(議 決)

第15条 総会の議事は、出席者の過半数をもってこれを決する。可否同数のときは、議長がこれを定める。但し、書面をもって、あらかじめ意志を表示したものは出席者とみなす。

会員は書面をもって、総会における議決権の行使を、他の出席会員に委任することができる。

(議 長)

第16条 総会の議長は、会長がこれに当たる。

(議 事 録)

第 17 条 総会及び幹事会の議事録は、議長がこれを作成し、出席者中から選出した 2 名の署名押印のうえ、これを保管する。

(決議事項の通知)

第 18 条 総会の決議事項は、会報に掲載する。

第 5 章 資産および会計

(資産)

第 19 条 本会の資産は、次のとおりとする。

- (1) 入会金及び会費
- (2) 事業に伴う収入
- (3) 寄付金品
- (4) 資産から生じる果実

(資産の区分)

第 20 条 本会の資産は、これを分けて基本財産及び運用財産とする。

基本財産は、基本財産の部に記載する資産及び将来基本財産に編入される資産で構成する。

運用財産は、基本財産以外の資産とする。

寄付金品であって、寄付者の指定あるものは、その指定に従う。

(基本財産の処分等の制限)

第 21 条 基本財産は、これを処分し、又は担保に供してはならない。但し、本会の事業遂行上やむをえない事由があるときは、幹事会及び総会の議決を経て、その一部に限り処分し、又は担保に供することができる。

(積立金の保管)

第 22 条 基本財産及び運用財産の積立金は、確実な有価証券を購入し、又は確実な信託銀行に預託し、又は確実な銀行預金等として、会長が保管する。

(運営経費)

第 23 条 本会の運営に要する経費は、(1) 入会金及び会費 (2) 事業収入 (3) 寄付金 (4) 積立金及びその運用収入をもって充当する。

(入会金及び会費)

第 24 条 入会金は、母校に入学したとき前納する。会費は、会計年度毎に納入する。

入会金及び会費の額は、別に定め、総会において承認を得る。また、その額を減免する規定をつくることができる。

納入された入会金及び会費は、これを返還しない。

(会計年度)

第 25 条 本会の会計年度は、毎年 4 月 1 日に始まり、翌年の 3 月 31 日をもって終わる。

(会計担当幹事)

第 26 条 会計の業務は、会長の指名する常任幹事 2 名以上がこれに当たる。

第 6 章 支部及び同期会

(支部及び同期会)

第 27 条 本会は、卒業年次、又は地域若しくは職域等を単位とした会員の組織の設立及び運営を支援し、且つ本会の支部又は同期会として承認することができる。

支部又は同期会の承認は、別に定める規定により、幹事会が行う。

(運営責任)

第 28 条 支部及び同期会の運営は、それぞれの組織において責任を持つ。

第 7 章 表彰

(名誉会員及び功労会員)

第 29 条 本会に著しい貢献をした者に、名誉会員の称号を贈ることができる。

長年にわたり会務に従事するなど、本会に著しい功労のあった会員を功労会員とすることができる。

名誉会員及び功労会員の推挙選定は、幹事会が行い、総会に報告する。

名誉会員及び功労会員は、役員会に出席して、意見を述べるることができる。

(表彰)

第 30 条 本会に、重要な貢献をした者は、幹事会の決定により、総会において表彰する。

第 8 章 付則

(施行)

第 1 条 本会は、平成 13 年 6 月 16 日から施行する。

昭和 5 年 10 月 22 日 施行

昭和 11 年 9 月 1 日 一部改正

昭和 23 年 10 月 22 日 一部改正

昭和 29 年 4 月 1 日 一部改正

昭和 41 年 4 月 1 日 一部改正

昭和 56 年 6 月 13 日 一部改正

平成 5 年 6 月 19 日 一部改正

東京都文京区関口 3 丁目 8 番 1 号

獨協同窓会

電話 03-3946-

6352

同窓会事務局の連絡先は以下のとおりです。

〒112-8790 文京区関口 3 丁目 8 番 1 号

獨協中・高等学校内 獨協同窓会

私の近況.....卒業ン十年

私達同窓生は米寿を迎えた歳となり、私も「一日一生」の毎日です。獨協時代の思い出の一つに、ヤコップ・ザール先生の獨逸語会話授業で、ローレライ、野バラ、獨逸国歌などを教わり、その楽しかった合唱がよみがえってまいります。高橋 善三(昭11卒)

此の世に未練があるのか？まだ元気で自然との共生を味わっています。誰か同級生で昔を思い出して、生きている間に通信なればと思っています。

関戸 喜代志 旧姓・山川 清 (昭11卒)

昨年暮、クラス会(深川会)幹事の江口君の急逝、高木君の病氣引退の後をうけて服部・安田(旧姓・滝上)両君とともに幹事になりました。年金生活ですが元気です。

真崎 駒男(昭17入学、20年夏佐賀県の中学へ転校)

私は太平洋戦争翌年の昭17年4月に獨協に入学し終戦翌年の3月に四修で獨協を巣立った者で私の獨協生活は戦争を貫いたものでした。年に2度程所用で母校の前を通りますが、立派になった母校を見る度に感慨一入です。

篠田 耕吉(昭21卒)

小生昨年7月心臓弁膜の手術をしました。経過はよいのですが静養中で今回は遠慮させて下さい。宜しく。

堀内 経夫(昭21卒)

軍国主義の真っ只中の昭和17年入学、私は4年で進学してしまったので暫くは同級生との交流もありませんでしたが、鈴鹿サーキットで仕事中に3人の仲間と出会いました。英班には、学徒動員で強制疎開の家壊しで働いた地にちなんで「深川会」というクラス会があり毎年10数人集まっては半世紀も前の思い出に花を咲かせています。昨年の暮れに名万年幹事だった「江口角蔵」君を失い今年から「真崎駒男」君とコンビで幹事になりました。深川会に一人でも多くの参加をお待ちしています。

服部 忠男(昭21卒)

何とか無事に喜寿を迎えることが出来ました。毎日6kmのウォーキングや色々のボランティア活動を通じて心身共に(健かに老いる)を目指して、努めて参り度い。

相沢 正晴(昭21卒)

獨協の校庭で汗だらだらの中で玉音放送を聞き、教室で呆然としてから60年、昭和21年4年修了(免状は頂いた)旧制第二高等学校へ入り、慶應大学医学部卒後、北里大内科を定年退職、現在老健施設長。

柴田 久雄(昭21卒)

【空しさ】昭和19年、戦地への出発直前、母校を訪ねた。3時間待って、元担任教師(小袋)にお別れのあいさつ

をしかけたが、話しを聞こうともせず、2~3秒で去って行った。60年たった今も、その時の空しさが残っている。以来、母校を訪問しようと思った事は一度もない。

丸山 光弘(昭21卒)

戦時中、学徒動員で陸軍の工廠の夜勤の折、米機空襲で電車不通、徒歩にて帰宅途中、焼け死んだ遺体無数「戦争はイヤダナア」今も頭のネガフィルムに焼きついています。

宮田 復太郎(昭21卒)

20世紀最後の、第20代中高校長の職を辞してより6年。獨逸学協会中学卒業より60年。將に「烏兔忽々」。医学外分野の知識不足を痛感、刻苦勉学の日々を元気に過しています。

奥田 千秋(昭21卒)

今年秋喜寿(77才)を迎える小生は戦時中在校し、殆んど授業がなく、「造兵廠」で昼に夜に戦闘機の弾丸を作っていました。平和な今では夢のような昔話です。あれから60年余のまさに老兵の小生、長い人生の過去への反省も多々ありますが、残された年月を悔いのないよう過せるようにしたいものです。

横井 弘幸(昭21卒)

元気に手打ちそばを楽しんでいます。獨協には中学で入り毎年臨海学校で沿津の三津浜海水浴場に行きましたが、シマダイをよく見かけたのがなつかしく思い出されます。

卯月 一好(昭31卒)

ドイツ語クラス31年卒のクラス会を「卒後半世紀」と題し、5月21日椿山荘にて開催します。連絡は、日比谷、山口(眞)まで。

山口 眞護(昭31卒)

阪神大震災の折には今は亡き友を含めドイツ語クラス全員に励まされ獨協出身である事に胸を張って毎日を通して居ります。昭和31年ドイツ語クラス卒。

小野 史雄(昭31卒)

私は昭和25年中学入学、6年間獨協にお世話になり31年の高校卒業です。明治の木造校舎で入学式、コンクリートの新校舎で卒業式と以来50年がすぎました。クラブ活動は放送部に所属、まだ戦後で物不足の時、先輩に指導されながら校内放送設備の整備など、木造校舎は懐かしい思い出一杯です。現在は引退10年ゴルフ、テニス、油絵と元気です。ゴルフは(気楽に打つ会)を作り、60~70才の男女25~26名で月一回の定例会を楽しんでいます。

森川 博(昭31卒)

整形外科を開業し、テニスで体を動かし、元気しております。

木村 繁(昭31卒)

私の近況.....卒業ン十年

期待と不安を胸に獨協の門を潜り両親と恩師の御蔭で希望の進路を歩んで早40年。日々の診療に追われる中、久し振りに同窓会に出席。白髪混じる友の笑顔は昔のままで胸が熱くなりました。 平野 和雄（昭和41年卒）

医者になって24年、開業して14年、現在全力投球中。

宮下 浩平（昭51卒）

早いもので、この春に長男が獨協高校を卒業します。有意義な高校生活を送る事が出来、先生方には、本当に感謝いたしております。 鈴木 忠臣（昭51年卒）

昭51年卒の3年4組、木村重利先生のクラスでは、2年連続クラス会を行っております。御案内できていない方もおられますが、もし宜しければ、事務局までお問い合わせ下さい。現在は15～16人で集まっております。

寺田 壮治（昭51卒）

卒業して30年、医師として22年が経過しました。獨協で教わった「恕」を肝に銘じ日々診療しています。医師としての良心の原点は獨協にあり、学べたことを誇りに思っています。 吉崎 明彦（昭51卒）

私は、家の仕事、印刷業をやっています。前は、工場で印刷機械を手伝っていましたが、今は、事務所の経営をやっています。趣味は、たまに、クラシック音楽の演奏会に聞きに行きます。 入野 満哉（昭51卒）

昨年10月、台東区松が谷に「成守会クリニック」という泌尿器科クリニック、透析センターを開設しました。

沖 守（昭51卒）

荒川区日暮里でクリニックを開業して7年目となります。荒川区にも獨協学園の同窓生で開業医や勤務医として活

躍されていて、心強く思っています。ホームページ「yatagai.net」<http://www.yatagai.net>

谷田貝 茂雄（昭59卒）

在USA（ニュージャージー州）。滞在が3年程延びて、仕事のかたわら広大なアメリカを見聞。5th Grade（日本では4月から小6）の息子と3人家族です。

山路 剛史（昭61卒）

横浜市獣医師会（同業の集い）で獨協の先輩がいました。うれしいものです。 武井 俊夫（昭61卒）

気がつけば卒業して20年！！獨協の先生方、友人のおかげで今の自分がある。本当にそう思います。息子も6年生になります。果たして獨協生になれるのだろうか...

岡本 浩一（昭61卒）

卒業して20年たち、昨年の同窓会でなつかしい旧友に会ってみると、皆、ほとんど変わっておらず、しかし自分だけ当時の面影が無い事にショックを受けました。

大園 道夫（昭61卒）

同窓の方と連絡を取りたい方へ

同窓生の近況を読まれたりして、同窓生と連絡を取りたいという申し出があります。個人情報保護という観点から、同窓会で管理している連絡先に基づき問い合わせた方がご本人かどうか確認したうえで、改めて同窓会からお探しの方の住所等をご連絡しています。



物故者名簿 (獨協通信) 64号以降	卒業年	氏名	物故年月日	昭和19	斎藤 俊文	平17.3.29	昭和35	小野 泰司	平18.1.7
	昭和04	大畑 謙一	平16.10.9	昭和20-4	福地 昂雄	平17.11.2	昭和35	村田 充	平16.8.24
	昭和08	大山 弘	平16.12.31	昭和20-4	斎藤 和男	平17.8.月	昭和35	田中 祥雅	平16.12.14
	昭和12	多和田 厚	平15.9.2	昭和20-5	南部 光養	平8.5.3	昭和35	福田 稔	平16.12.1
	昭和19	斎藤 俊文	平17.3.29	昭和22	高橋 良昌	平17.1.13	昭和37	田中 壤	平17.4月
	昭和09	田中 稔	平17.1.25	昭和22	秋田 良	平17.2.7	昭和37	富山 学人	平17.12.28
	昭和10	浦野 敦	平17.5.9	昭和22	大場 毅	平16.2.1	昭和38	勝俣 清士	平17.12.11
	昭和12	山本 茂	平17.9.4	昭和22	大場 毅	平16.2.1	昭和41	原田 康晴	平17.12月
	昭和12	多和田 厚	平15.9.2	昭和23	奥村 昌和	平17.8.20	昭和41	野口 一雄	平16.10.21
	昭和15	佐藤 清博	平15.6.27	昭和25	岩崎 恒明	平17.8.18	昭和42	加藤 信明	平3.10.21
	昭和17	榎本 嘉士	平17.10.8	昭和28	塩島 武志	平12.7.30	昭和43	坂庭 登	平15.9.11
	昭和17	毛塚 幹男	平17.8.2	昭和33	広木 孝平	平9.7月	昭和46	斉藤 幹男	平16
	昭和18	塩津 林平	平15.6.8	昭和33	中村 泰	平13.3.11	昭和61	柿沼 顕一	平17.2.18
	昭和19	伊原 久	平17.1.23	昭和33	的場 武久	平16.12.25	平成05	青木 径央	平12.10.15

昭和19年卒ドイツ語科 五三会

平成17年9月17日(土) 銀座三笠会館で開きました。獨協のOBらしく、時にはドイツ語で記しては、とも存じまして、以下そうさせて頂きました。

Bei der gesagten Gesellschaft erschienen 13 Freunde und hatten viel Spasz, indem sie sich unter anderem von einigen lieben Erinnerungen an die Dokkyo-schuljahre unterhielten, Man darf sagen, dass sich gleich und gleich gern geselle, Oder : wo Tauber sind, fliegen Tauber hin.

In diesem Jahre aber betrauern wir den Verlust der beiden guten Freunde, Herrn Yuzuru Kimura (Moridawa) und Herrn Akira Ensyoji herzlichst.

Von unserem wirklichen Alter abgesehen, werden wir alle auch im kommenden Jahre hoffentlich lebendig zusammentreffen.

(田村 康三・記)



昭和25年卒 大豆会

平成17年10月20日、正午より、御徒町駅前吉池五階・池田屋で開催しました。今回は八十八歳・米寿に成られた恩師、文学博士大久間喜一郎先生のご出席を賜りました。皆さんで米寿のお祝をし、美酒・美食で和やかに談笑の後、大久間先生がカラオケで1曲歌をご披露になられた。若々しい張りのある美声で、声量、歌唱力共に抜群で、高ら

かにお歌いになるのを見て、とても八十八歳とは思えず皆驚いた。最後に恩師に感謝を込めて、皆さんで「揚げば尊し」を合唱の後、閉会しました。

(市村 圭司郎・記)



昭和48年卒 獨協48会

昨年10月15日(土)午後7時より、赤坂の「イルバンボローネ」において、奥田千秋前校長、柏葉洋元教諭をお招きして「獨協48会」を開催しました。平成5年に同会が発足して以来、13年連続で行われているにも拘わらず、今回も40名を越える参加がありました。

奥田先生のご発声による乾杯で、静かに会が始まりました。獨協高校の大先輩であり、獨協医科大学でお世話になった仲間も多く、先生の元気なご様子にほっとし、お話を大変懐かしく伺い、また、入学と時を同じくして赴任された柏葉先生からは、在学中のやんちゃな様子、ご自身の近況を伺いました。杯が進むほどに獨協生だった頃に戻り、在学中の話題に花が咲き、あっという間の2



クラス会だより

時間でした。

会の最後に、次期クラス幹事の選出を行い、今年10月の再会を誓って、2次会の会場である赤坂に繰り出しました。次期クラス幹事 1組 田村治久 2組 林 清方 3組 岡崎 正巳 4組 多田 利幸 5組 泉 正隆 6組 五十嵐 整
(文責・代表幹事 窪田 潤)

昭和52年卒業 ドイツ語クラス会

平成18年3月18日(土) 新宿伊勢丹会館内「采」にて、約6年ぶりの昭和46年中学入学ドイツ語クラス会を、中学主管の古川先生および高校主管の糸井先生をお迎えして開催いたしました。当日は忙しい合間を縫って、17名の同期が遠くは弘前から参集しました。古川先生は御歳82歳とは思えないほどお元気で、“笑いは病気を克服する”と言うお話をされました。また、糸井先生からは脚・腰を鍛え、四国お遍路を自転車で走破したという武勇伝をお聴かせいただきました。先生方のお話や同期の交歓で楽しい時間は瞬く間に過ぎ去り、足りない時間はトップス・バーでの二次会となり、糸井先生を含め15名の参加がありました。来年は卒業30周年の節目の年にドイツ語クラス会平成19年の再会を約して散会となりました。最後に幹事の鹿島君をはじめ、皆様の協力により有意義な会にできたことに感謝いたします。(足立 孝・記)



昭和53年卒 同期会

平成18年3月11日(土) 有楽町「さがみ」に

て、昭和53年卒獨協有志の会恒例超遅い新年会が行なわれました。当日は15名の出席者があり、全員2次会まで参加し、時の経つのも忘れ、語り合いました。やはり中年になっても『獨協生は遊びには強い』を実感いたしました。(西原 由泰・記)



昭和53年卒 西の市五三会

昭和53年卒業生の有志が集い、現役当時から西の市の日に続けてまいりました毎年恒例の「西の市会」も、思えば30年を超える歴史を重ねることとなりました。今回から「西の市五三会」と称し、去る2005年11月9日水曜日、浅草「日本海」でなごやかに小宴を催し、宴会終了後鷲神社に詣で、参加者全員で1年の無事に感謝し来る年の幸を願いました。(鈴木・記)



東薬獨協会

平成17年11月12日(土) 5年振りに東薬獨

クラス会だより

協会が開催されました。

目白台にある、大人の隠家のような「蔵」にて、獨協高校から東京薬科大（昭19年～平4年）卒の10名が集まり、現在の状況、薬剤師の現状の他、昔話や楽しい話題に花を咲かせ、美味しい料理とお酒で、満ち足りた夕べを過ごしました。東薬大生は無料招待で、毎回、世代を越えたコミュニケーションをはかって来ましたが、個人情報保護法により連絡がとれない獨協卒業生もいて残念です。

又、獨協高校から東薬大への進学生も少なくなり、これまで何十年も続く東薬獨協会も淋しいかぎりです。

今回は在学学生を含め多くのOBの方が、参加できることを期待します。次回、平成18年11月を予定。（幹事・大山、渡邊・記 東薬大17回卒）



ワンダーフォーゲル部OB会

恒例の新年会を1月22日（日）上野・精養軒で開催。今年はOB会（井上正巳会長・昭32卒）結成20周年の節目の年、加えて会員・佐藤八郎氏



（昭35卒）の奥様・加代さんの出版（『なつかしい日本の遊び201』角川学芸出版）記念を兼ねた和やかで盛大な会となりました。OB会は現役の支援、月例山行、小諸親睦会、スキー親睦会など多彩な活動を続けています。昭50卒以降の若いOB諸君、会のホームページ HP を覗いてください。

（http://plaza17.mbn.or.jp/~dokkyo_wv/）

（常盤 雪夫・昭35卒記）

獨協サッカー部OB

平成17年11月13日（日）三菱養和会巣鴨スポーツセンターで、獨協高校サッカー部OB現役交流会が行われました。サッカー部創設時のメンバー（66歳）から現役の中学3年生（15歳）まで、総勢60名を超える参加がありました。素晴らしい秋晴れの中、午前中に交流試合をし、午後は懇親会と有意義な時間を過ごすことが出来ました。

2006年は、6月からドイツワールドカップ大会が開催され、獨協高校サッカー部は戦後創部50周年を迎える記念の年に当たります。就きましては、現在、祝賀会を10月後半に開催すべく予定し、（準備）事務局をスタートさせたところです。現役顧問の神宮司先生が昨年4月に開設したホームページ（HP：下記参照）を活用しながら、企画作成や案内状を出す名簿などと取り組んでいます。連絡を取るために、各代の主将または主務をされていた方を探しています。特に昭和50（1975）～平成8（1996）卒の22年間の消息が全く掴めないで困っています。ご連絡をお待ちしております。

（<http://www.dokkyo-football.com/index.html>）



クラス会だより

連絡先：青木正晴（昭和43卒）03-3773-1219
（事務所）aoki.masaharu@nikonoo.net

携帯：090-6104-8723
携帯メール：uwe1969@ezweb.ne.jp

平成18年度大学別合格者数（延べ人数）

進路指導部・平成18年3月末日現在

<国公立大学>	神奈川歯科大学	1	中央大学	13	明海大学	3	
岩手大学	1	金沢医科大学	1	鶴見大学	2	明治大学	14
宇都宮大学	1	関西大学	1	帝京大学	8	明治学院大学	5
鹿屋体育大学	1	関西学院大学	1	帝京平成大学	1	明星大学	2
埼玉大学	1	神田外語大学	2	東海大学	6	酪農学園大学	2
千葉大学	1	関東学院大学	2	東京工科大学	1	立教大学	3
電気通信大学	1	北里大学	8	東京歯科大学	2	立正大学	6
東京外国語大学	1	杏林大学	2	東京造型大学	1	立命館大学	2
東京海洋大学	3	慶応義塾大学	12	東京電機大学	6	龍谷大学	1
東京農工大学	1	工学院大学	3	東京農業大学	5	和光大学	1
東北大学	1	國學院大学	4	東京富士大学	1	早稲田大学	8
一橋大学	2	国土館大学	2	東京薬科大学	1	小計	330
横浜国立大学	1	駒澤大学	7	東京理科大学	13		
首都大学東京	1	芝浦工業大学	8	同志社大学	1	<私立短期大学>	
横浜市立大学	1	上智大学	7	東邦大学	8	國學院短期大学	1
小計	17	尚美学園大学	2	東邦音楽大学	1	<文科省所管外>	
		昭和大学	4	東洋大学	7	水産大学校	1
<私立大学>		聖学院大学	1	日本大学	20	<専門学校>	
獨協大学	15	成蹊大学	13	日本歯科大学	1	東京電子専門学校	1
獨協医科大学	2	成城大学	4	日本体育大学	2	文化服装学院	1
青山学院大学	6	聖マリアンナ医科大学	3	文教大学	1	<その他>	
亜細亜大学	2	専修大学	2	法政大学	13	テンブル大学	1
岩手医科大学	2	仙台大学	2	北陸大学	1	トランス・シフィカライ大学	1
桜美林大学	4	大東文化大学	3	松本歯科大学	1	小計	6
大阪芸術大学	1	拓殖大学	4	武蔵大学	1		
学習院大学	10	玉川大学	2	武蔵工業大学	5	合計	353
神奈川大学	5	多摩美術大学	4	武蔵野大学	2		
神奈川工科大学	1	千葉工業大学	3	武蔵野美術大学	3		

2006年度 編転入試験実施のお知らせ

獨協中学・高等学校では、一家転住者のご子息および海外からの帰国生徒を対象とした編入試験の実施を、7月中旬に予定しております。日時、学年、受験資格等詳細につきましては、教務部（若井）までお問い合わせください。

獨協中学・高等学校入試対策室
TEL 03-3943-3651

同窓会発展のため
同窓会費を納めましょう

年会費5,000円

自動引き落とし制度をご利用ください。
詳しくは事務局まで

● ● ● ● 学 園 だ よ り ● ● ● ●

184人を送り出す 獨協高等学校卒業式

第58回獨協高等学校卒業証書授与式が3月10日、水上忠学園理事長、宮田和夫同窓会会長らの臨席のもと100周年記念体育館で行われた。

永井伸一校長は「私が目白に赴任した年に入学した思い出深い生徒たちである。自分たちの目標に向かって学業やクラブ活動を立派に両立させ、まじめに学園生活を送ってきた学年だった。」と卒業生を称えた。宮田会長からは、野田謙君ら4人に同窓会特別賞を、卒業生全員にDマーク入りのネクタイピンが卒業記念品として贈られた。

200人の新入生 獨協中学校入学式

平成18年度の獨協中学校の入学式が4月6日に行われた。永井校長は式辞の中で「小さな目標を一つ一つ達成して、大きな目標を達成して下さい」と呼びかけた。新入生を代表して飯島裕史君の元気あふれる宣誓があった。

獨協中学・高等学校人事

退職 新井 洋 一（国語科）

川上 喜代治（総務課）

齋藤 孝（総務課）

新任 峯 淳（国語科）

学園に対する寄付

昭58年卒有志（岩内 伸幸・昭58卒小諸同窓会代表）より、小諸日新寮維持・備品購入費用として寄付の申し出があった。

日本大学医学部獨協会（荒川泰行会長・35卒）より、図書購入費用として寄付申し出があった。

獨協ドクターズクラブ2006（第7回DDC・世話人・鈴木荘太郎・35卒他）より、図書購入費用として寄付申し出があった。

消息

叙勲

昭和38年卒安藤保隆氏におかれましては、昨年春の叙勲に際し、黄綬褒章を授与されました。

安藤保隆氏は、大学時代一年間をドイツで過ごし、2年間の丁稚奉公の後内外地図に入社されました。内外地図ではこれまで35年間地図の製作販売を手がけてこられました。この間社会のさまざまな変化に際し、会社の経営を切り盛りされると同時に、情報化の進展する中、新しい技術とこれまでの技術の両立を図りながら地図の製作を進めてこられました。地上の測量作業から衛星を利用した地図づくりまで膨大な地図情報を図面に起こし、さまざまな場面で利用される地図の作成普及に当たってこられた業績が評価されての受章です。今回の受章に際し、関係者の方々に感謝の念を表されておりました。

また、昭和23年卒大場荘介氏に置かれましては、昨年秋の叙勲に際し、旭日小綬章を授与されました。大場荘介氏は、文京区で薬局を開業され、区薬剤師会の会長を務め、区議会議員としても活躍されたことを顕彰されての叙勲です。

ここに、お二人の叙勲をお祝いし、ご報告します。これからの更なる活躍をご期待申し上げます。



横山先生の消息を

昭和39年卒の平氏が横山先生のご連絡先をお尋ねになっています。同窓会でも調べてみましたが不明でしたので、どなたかご存知の方は同窓会事務局までご連絡ください。

返信用紙の職業欄の記入について

返信用紙には是非職業欄の記入をお忘れのないようにお願いします。職業区分は右の表を参考にして該当する番号をご記入ください。また、医師の方は診療科目についてもご記入ください。

ご承知のように、獨協同窓会の中には、職域単位、在学の大学単位などで同窓会が作られています。そして、これらの団体については会則にもあるように同窓会としても承認して、活動に当たっての相談などに乗っております。特に業種ごとの同窓会については連絡先情報の提供などで協力してまいりました。

こうした同窓会の中でも代表的なものとしては、獨協ドクターズ・クラブがあります。獨協の卒業生には医師が多いことで会員相互の交流の場、研修の場として活発な活動がなされています。こうした職域、業種毎の同窓会は新たなビジネスチャンスともなりますのでそうした組織を作り、情報交換の場として活用していく際の基礎情報として同窓会への参加をお尋ねする文書で個人情報を収集させて頂いている次第です。今回から返信は、同封の封書でお願いしておりますので、配達途中で情報が漏れることはないものと考えています。宜しくご協力の程お願い申し上げます。

また、近況報告の欄は、皆様方の消息を多くの同窓生に知ってもらうための原稿となりますので、一言でも結構ですので、ご記入願います。

1. 水産・農林・鉱業	25. サービス・外食・料理旅館
2. 紙・パルプ・繊維	26. 芸術・文化
3. 科学・医薬	27. 宗教・各種団体
4. 石油・ゴム・硝子・窯業	28. 学生・その他
5. 鉄鋼・金属	29. 医師：開業医
6. 電気機器・機械	30. 医師：勤務医
7. 造船・自動車	31. 歯科医師：開業医
8. 事務機その他機器	32. 歯科医師：勤務医
9. その他製造業	33. 薬剤師
10. 電気・ガス・水道	
11. 商社・卸売	医師の診療科一覧
12. 百貨店・スーパー・小売	内科
13. 銀行・その他金融・保険	外科
14. 証券・商品先物	整形外科
15. 建設・不動産	小児科
16. 陸海空運・倉庫	産婦人科
17. マスコミ・通信・広告	眼科
18. 情報・コンピュータ関連	皮膚科
19. 議員・公務員	耳鼻咽喉科
20. 教育	精神神経科
21. 設計士・エンジニアリング	泌尿器科
22. 弁護士・会計士・税理士・ その他資格士	放射線科
23. 出版・印刷	麻酔科
24. 医薬・化粧品販売	その他

編集後記

いつもながらのことではありますが、獨協通信の編集ではぎりぎりまで原稿の依頼などで、印刷所へ編集結果を渡す日限が切迫してしまいます。5月に発行する通信は総会のご案内の件もあり、余裕を持って会員各位のお手元に届けなければなりませんし、年末に発行しているものはクリスマス前後に届くように努力しております。

今回の号は、編集子の準備不足もありこれまでになくあたふたとした作業が続いてしまいました。原稿を書いていただけの予定の方のご都合が合わ

なかったりで、いつものようには順調に編集作業が進みませんでした。

つきましては、この場をお借りして、皆様方に重ねてご寄稿をお願いする次第です。

在学当時の思い出や社会人として働くようになって獨協の卒業生であったことが役に立った経験あるいは思わぬところで同窓生と巡り会ったエピソードなどどのようなことでも良いですからご寄稿ください。メールでも結構ですので宜しくお願いします。
(竹文)